

## 浜岡原子力発電所1号機 使用済燃料の搬出に伴う点検結果について

2013年1月11日

浜岡原子力発電所1号機の燃料プールでは、過去に放射性物質の漏えいが確認された1体の燃料集合体を保管しており、廃止措置計画において2012年度末までに搬出することとしております。

この燃料について、搬出先である5号機において受け入れの見込みが得られたことから、廃止措置計画どおりの搬出完了に向けて、搬出準備として外観調査等をおこなうこととしました。

(2012年11月19日 お知らせ済み)

このたび、水中テレビカメラによる外観調査、超音波法<sup>\*</sup>による全燃料棒の内部調査およびファイバースコープによる破損燃料棒の詳細外観調査をおこない、燃料の取扱い(取出し、運搬、装荷、保管)に支障が無いことを確認しました。

今後、搬出準備を進め、1月下旬に搬出する予定です。

### ■水中テレビカメラによる外観調査結果

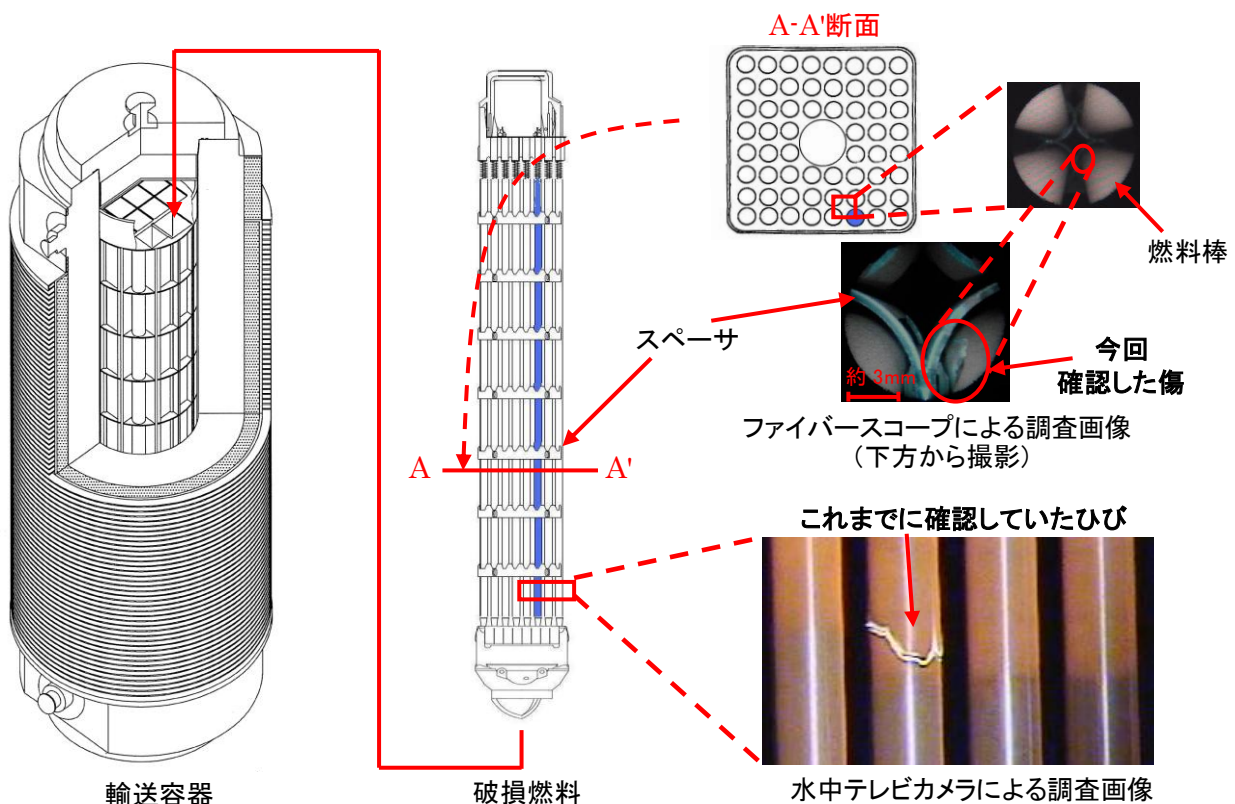
外観調査により、有意な変形や部品の脱落等がないことを確認しました。

### ■超音波法による内部調査結果

全燃料棒(60本)の内部調査により、破損燃料棒は過去の調査でひびを確認していた燃料棒1本のみであり、その他の59本の燃料棒は健全であることを確認しました。

### ■ファイバースコープによる詳細外観調査結果

詳細外観調査により、過去の調査で確認したひびが進展していないことを確認しました。なお、ひびとは別の位置に長さ3mm程度の傷を確認しましたが、燃料の取扱いに支障をきたすものではありません。



※ 燃料棒に接触させた超音波プローブから超音波を入射し、その減衰から燃料棒内の水を検知することにより、燃料棒内への浸水の有無を確認する方法です。これにより、燃料棒の破損の有無を判定します。

以上